

## 第 84 回全国民生委員児童委員大会 式 辞

富山県、富山市、高岡市それぞれの行政、社会福祉協議会などの関係機関、そして県内民生委員・児童委員の皆様のご協力を得て、本日、全国から 3,400 名を超える皆様をお迎えし、本大会が開催できますことにまずもって厚くお礼申しあげます。

また、本年も火山噴火、台風、豪雨などにより全国各地で被害が発生しております。被災地の皆様にご心よりお見舞いを申しあげます。さらに発生から 4 年 7 か月を経た今も厳しい状況にある東日本大震災被災地の皆様には、その献身的な活動に対し、心よりの敬意を表します。

さて、私たちが活動する地域にあっては、社会的孤立、悪質商法被害や子どもの犯罪被害、虐待、さらには子どもの貧困など様々な課題が深刻化しております。

そうしたなかにおいて、常に住民の最も身近な相談相手である私たち民生委員・児童委員に寄せられる期待は一層高まっていると考えます。

民生委員制度は、明後年に制度創設百周年を迎えます。振り返れば、それぞれの時代において強い使命感と情熱をもった多くの先輩方のご努力によって、民生委員制度は人々の信頼を得て今日に至っております。

この一世紀という大きな節目を迎える時にバトンを受け継いだ私たちは、諸先輩方から受け継いだ思いを確実に次世代に引き継いでいく責務があると考えます。そして、いつも住民の皆様の「心のよりどころ」となり、安全で安心して生活でき、人と人のつながりを大切にすまちは、地域づくりに歩んでいきたいと思っております。

今日、民生委員・児童委員の活動上の負担やなり手不足といった課題が指摘されていますが、この百年という大きな節目を、民生委員制度の一層の充実・発展の機会とするためにも、何より民生委員制度やその活動を広く社会にアピールしていく必要があると考えます。

今般、そうした思いを込め、全民児連におきましては、制度創設百周年を記念したシンボルマークを決定いたしました。「私たちの活動は、常に地域とともにある」、そうした思いを込めたデザインとなっております。皆様方におかれましても、今後、ご地元において広くご活用いただければと思っております。

来る百周年に向けましては、種々の記念事業の実施を検討しており、鋭意準備を行なってまいりますので、引き続き皆様にはご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげる次第です。

終わりにあたり、ご参会の皆様におかれましては、本大会を通じて全国各地の委員との交流を深めていただくとともに、本大会の成果をお持ち帰りいただき、ご地元での活動にお役立ていただきたく、主催者としてお願い申しあげ、式辞とさせていただきます。

平成 27 年 10 月 15 日

全国民生委員児童委員連合会 会長 堀江 正俊